

全国モーターボート競走施行者協議会助成事業

# 宮沢賢治の世界から環境問題を考える

## 映画とお話会

# 『グスコブドリ』の伝記

ー作品のお話もあるよー



2011. 7月16日(土)

19:00 ~ 20:45

あけぼのパーク多賀

ホールギャラリー

※事前に電話にてお申し込み下さい。

あけぼのパーク多賀  
(図書館・博物館・文化財センター)

〒522-0314

滋賀県犬上郡多賀町四手 976-2

TEL 0749-48-2077



人間のやさしさと  
豊かな心を育てる壮大なロマン

すでに広く知られているように、宮澤賢治の作品は、ヒューマニズムにあふれた透明感のあるものとして評価も定着しています。独特のロマンと壮大な世界をもつ賢治の作品は、日本の近代文学の中でもさわびた光を放っています。

『グスコブドリ』の伝記は、1932年(昭和7年)賢治が35歳の時に発表した最後の作品の同名の映画化です。奇想と自然とのたたかき、美しい人間世界の中をたくましく生きていた『グスコブドリ』の歌はともすると、現実とした日常に売られがちになる子どもたち、そして生きていく意味を見失いがちになる私たちに、人生の意味をしっかりと語りかけてくれます。

原作は、賢治の『走り再びかりし白銀山』といわれています。人間の生き方、あり方の正しさを知ってもらおうと筆話を書き、真に「国民の味方をして農事指導や肥料設計に夢中」になっていた賢治は、主人公と、主人公の生き方がダブってくるからでしょう。

映画は、宮澤賢治没後60年(1993年)、生誕100年(1996年)を記念して企画制作されたものです。オリジナルキャラクター脚本・監督は、テレビ、ビデオ、新編アニメと活躍している新進気鋭の中村隆太郎氏。音楽は、NHK大河ドラマ『奥の細道』の音楽を担当した菅野由弘氏。

## 原作＝宮沢賢治 グスコブドリ

声の出演  
グスコブドリ＝篠野真由美  
マリ＝篠野真由美  
クローバー博士＝池田一朗  
パンパン＝土師孝也  
赤松＝石田太郎

文部省選定  
日本PTA全国協議会推薦  
厚生省中央児童福祉審議会推薦  
優秀映画賞委員会推薦  
(社)日本青年会議所推薦  
上映時間 1時間25分

### 物語

きこりの子とグスコブドリとマリは、森の中で幸せな生活を送っています。しかし、ある年凶作が襲い、窮乏にみまわれます。父と母は家をでていってしまい、残ったマリも見知らぬ人につかわれていきます。

『グスコブドリ』は、1人で生きていかなければなりません。『グスコブドリ』は森で「てぐすく」の男に活動的な労働を強いられます。そんなある日、大きな地震が起こります。火山が火をふき、皮がらつのもり「てぐすく」はつぶれてしまいます。

しかたなく森を出ます。「おぼたけ」の奇襲の目標のところで仕事をさせてもらう『グスコブドリ』です。毎年毎年『グスコブドリ』はオリーブの苗をそだてつづけます。ところがある年オリーブが再びでて全滅してしまいます。『グスコブドリ』はクローバー博士の薫りに本気で勉強し、オリーブの病気の原因に成功します。しかしまた冷害と早稲が続き『グスコブドリ』は「おぼたけ」をあとにしなければならぬ。

『グスコブドリ』はクローバー博士をたずねて、イーハトーブ市にむかいます。そして博士の紹介でイーハトーブ火山で仕事をすることになります。火山活動の調査や観測。そしてなによりも火山を科学的に利用して農業にやくだてる仕事は、『グスコブドリ』の生きがいになります。

